



ドリラス

富山県

NO.36 2005年7月

中央植物園だより



ヒマワリ *Helianthus annuus* L. 暑い夏を連想させる花といえば、まず思い浮かぶのがヒマワリ。属名のヘリアントゥスは“太陽の花”を意味し、英名もサンフラワー。花が太陽の動きを追って回るといわれるが、つぼみの頃はともかく完全に開いた後は回転しない。北アメリカ原産のキク科の一年草で、16世紀末にヨーロッパに持ち込まれ、日本には寛文6（1666）年頃に渡来。種子から食用油を採るほか、八重咲きや赤褐色のもの、草丈の低いものなど観賞用の園芸品種も多い。

撮影／松永正昭さん（平成16年度私の植物写真展応募作品）

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

特別展 竹 ～種類・文化・利用～

平成17年7月22日(金)～9月28日(水) 富山県中央植物園 サンライトホール

共催/竹資源活用フォーラム 協力/富士竹類植物園・富山県立大学・財団法人 地球環境財団

竹は古くから私たちの生活に関わりが深く、ざるや籠、傘、団扇、釣竿、楽器、玩具をはじめ、食用や薬用などさまざまな活用されてきました。このところ竹は、竹炭や竹酢液に加えて、竹集成材、竹紙、衣類などにまで利用されるようになってきています。この企画展では、竹の伝統的な利用と、現代的な利用法について紹介します。最近では竹林の拡大などマイナス面ばかりが強調されがちですが、素材としての竹の価値を見直してみたいかがでしょうか。

また、タケやササにはたくさんの種類がありますが、どれも見た目がよく似ているので識別が難しいようです。タケとササはどう違うかなど、タケの仲間の分類や主な種類の特徴についてパネルで解説します。

なお、会期中、植物園ではTOYAMA植物フォーラム「竹」や“バンブーシンフォニア”による竹楽器を使ったコンサートなど、竹にちなんだいろいろな催しが行われます。詳しくは裏表紙の案内をご覧ください。



竹で編んだ籠やざるのいろいろ



中国雲南省の“竹筒飯”。糯竹というタケ（ケファロスタキユウム的一种）に米を詰めて蒸したもの



チマキザサの葉で包んだ餅



竹炭の風鈴



フローリングに利用される竹の集成材

研究紹介◎外来種台湾ハンノキによる沖縄島の二次遷移の攪乱

主任 兼本 正

近年、外来種による既存の生態系や生物多様性の破壊が問題となっています。

1種の生物は、生態系の中で多様な生物と関わりあって生きています。外来種の侵入と分布拡大によって引き起こされる、競争による在来種の抑圧や生態的地位の置換は、在来の生態系に多岐に渡る影響をもたらします。特に、構成要素が貧弱である島嶼（とうしょ）の生態系は、外来種導入などの外的攪乱に対して極めて脆弱です。

沖縄島北部では、伐採や崩壊、開発により森林が破壊された場所など遷移の初期に優占する樹種として、リュウキュウマツが知られています。一方、1910年に崩壊地の復旧や防風のために台湾から導入された台湾ハンノキは、リュウキュウマツと同様な生態的特徴をもっています。すなわち、両種はともに遷移の初期に先駆的に侵入してくる樹種であり、生育地を巡って競争関係にあります。これまでの調査で、台湾ハンノキが優占する二次林が沖縄島北部一帯に分布していることが明らかになりました。沖縄島北部の二次遷移は、台湾ハンノキによって攪乱されています。

リュウキュウマツは琉球列島の固有種で、本地域では唯一のマツ科植物です。リュウキュウマツによって形成された二次林は琉球列島固有の植生であり、琉球列島独特の景観であるといえます。近年、リュウキュウマツ林はマツクイムシによって衰退しつつありますが、これに加えて台湾ハンノキの侵入による競争は、リュウキュウマツ林の存続にとって大きな足枷となっています。リュウキュウマツ林の保全を行う上でも、競合種である台湾ハンノキの動態を調査することが急務といえます。

なお、台湾ハンノキの分類学的取扱をめぐっては、日本や中国などに分布するハンノキと同種であるとする見解と、台湾の固有種であるとする見解があります。琉球列島の二次林を攪乱している台湾ハンノキの分類学的位置についても再検討する必要があります。



台湾ハンノキ。果穂は日本のハンノキに比べやや小さい



生育地をめぐって競合するリュウキュウマツ（青矢印）と台湾ハンノキ（赤矢印）

植物園トピックス◎兼本主任が坂寄奨励賞を受賞

富山県中央植物園の兼本正主任がこのほど、(社)日本植物園協会の坂寄(さかざき)奨励賞を受賞し、5月25日に名古屋で行われた同協会の大会で表彰されました。

同奨励賞は同協会名誉会員の坂寄信之さんの基金を元に、全国の加盟園の若手の職員らを対象に研究活動を奨励するために新設されたものです。今回は全国から3人が受賞しました。

沖縄県出身の兼本主任は平成5年か

ら当園に勤務し、熱帯果樹や食虫植物の栽培・展示などを担当。その一方で、地味な印象が強いイラクサ科のサンショウソウ属やウババミソウ属(富山で言う“よしな”の仲間)について、細胞中の染色体を観察して分類の再検討を行ったり、琉球列島産植物の保全などに関する研究を進めてきました。今回の受賞はこれらの研究が評価されたもので、当人は「受賞を励みに今後も研究に取り組みたい」と話していました。



坂寄氏（左）から賞状を受け取る兼本主任（右）

これからが見ごろの植物

パイナップルリリー

Eucomis

“パイナップルリリー”の名は、小さな花が密集した花序(かじょ)の先端に葉状の苞(ほう)をつけた様子が、果物のパイナップルを思わせることから。ユリ科の球根植物で、南アフリカを中心に約10種が分布します。写真はユーコムス・アウツムナリス(*E. autumnalis*)で、サンライトホールから芝生広場へ抜ける園路沿いの一面にたくさん植えられています。花の色はやや地味ですが、ユーモラスな姿をお楽しみください。

(主任 高橋一臣)



催し物のご案内

■サンライトホール展示

私の植物写真展
7月20日(水)まで

特別展「竹」～種類・文化・利用～
7月22日(金)～9月28日(水)

毒さのご写真展
9月23日(金)～10月19日(水)

■夜間開園

夜の温室植物
8月13日(土)・14日(日)
19:00～21:30(入園は21:00まで)
場所/展示温室
入園料/大人300円

■観察会・講座・講習会

親子デジカメ教室
花を写そう ◆要申込
7月30日(土) 10:00～15:30
場所/園内・富山県ITセンター
定員/親子16組 参加費/無料
※この行事の申込は、富山県ITセンター情報工房施設(TEL 076-444-7887)までお問合せください。

夏休み植物教室(1)
植物採集と標本の作り方 ◆要申込
7月31日(日) 10:00～16:00
場所/ドリアスホールほか
対象/小学4～6年生
定員/24名 参加費/無料

竹とんぼ教室 ◆要申込
8月7日(日) 13:00～16:00
場所/ドリアスホール
対象/小学生とその保護者
定員/40名 参加費/無料

夏休み植物教室(2)
植物の名前しらべ ◆要申込
8月28日(日) 10:00～16:00
場所/ドリアスホールほか
対象/小学4～6年生
定員/24名 参加費/無料

第13回TOYAMA植物フォーラム「竹」
9月11日(日) 13:00～16:00
パネリスト
柏木治次
(富士竹類植物園事業本部長)
山田卓三
(名古屋芸術大学名誉教授)
藤井 透(同志社大学教授・
竹の高度利用研究センター長)
座長
内村悦三(富山県中央植物園園長・
竹資源活用フォーラム会長)
場所/研修室 参加費/無料

講演会 きのご中毒を防ぐために
9月25日(日) 13:00～15:00
講師/橋屋 誠(中央植物園)
場所/ドリアスホール
参加費/入園料が必要

県民カレッジ連携講座
第25回植物画講習会 ◆要申込
10月1日(土)・2日(日)
10:00～16:00
講師/豊田路子・岡田宗男
(フェアリー・リング会会員)
場所/研修室
定員/50名
参加費/500円(画材料)

どんぐりで遊ぼう ◆要申込
10月9日(日)・16日(日)
13:00～16:00
場所/ドリアスホール・園内
対象/小学生とその保護者
定員/各40名 参加費/無料

■ドリアスコンサート

バンブーシンフォニアの世界
～竹楽器が奏でる自然の響き～
9月10日(土) 14:00開演
演奏/柴田旺山ほか
場所/サンライトホール
参加費/入園料が必要

■月例行事

日曜植物案内
8月7日(日)・9月4日(日)・
10月2日(日) 11:00～12:00
集合場所/サンライトホール
参加費/入園料が必要

植物園オリエンテーリング

7月17日(日)・8月21日(日)・
9月18日(日) 10:30～11:30(受付)
集合場所/サンライトホール
参加費/入園料が必要

◆要申込 このマークの講座・講習は事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から「往復はがき」で受け付けています。

友の会会員募集中!

■特典 会員証を示しサインするだけで入園できます。/会報や植物園だよりが送られてきます。/多彩な友の会の行事に参加できます。/印刷物を割引で購入できます。

■会費 年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法 植物園の入園窓口で随時受け付けています。

■有効期間 ご入会の日から翌年の3月31日まで。

■問合せ先 富山県中央植物園友の会事務局 TEL. 076-466-4187

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円
団体料金(20名以上) 480円
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」に乗車し「ファボーレ」停留所下車、徒歩約17分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分